

# 奈良県の地震

## 【奈良県の地震活動図】

震央分布図と断面図

## 【奈良県地震概況】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

## 【地震一口メモ】

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

「奈良県の地震」は、奈良地方気象台における地震調査の一環として県内の地震活動状況を的確に把握し、きめ細かい防災対策に資するため1989年1月より月1回発行しています。「奈良県の地震」は、上記の項目で構成し、適宜地震解説資料や用語解説等を掲載します。

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体、及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

※この資料の震源要素及び震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

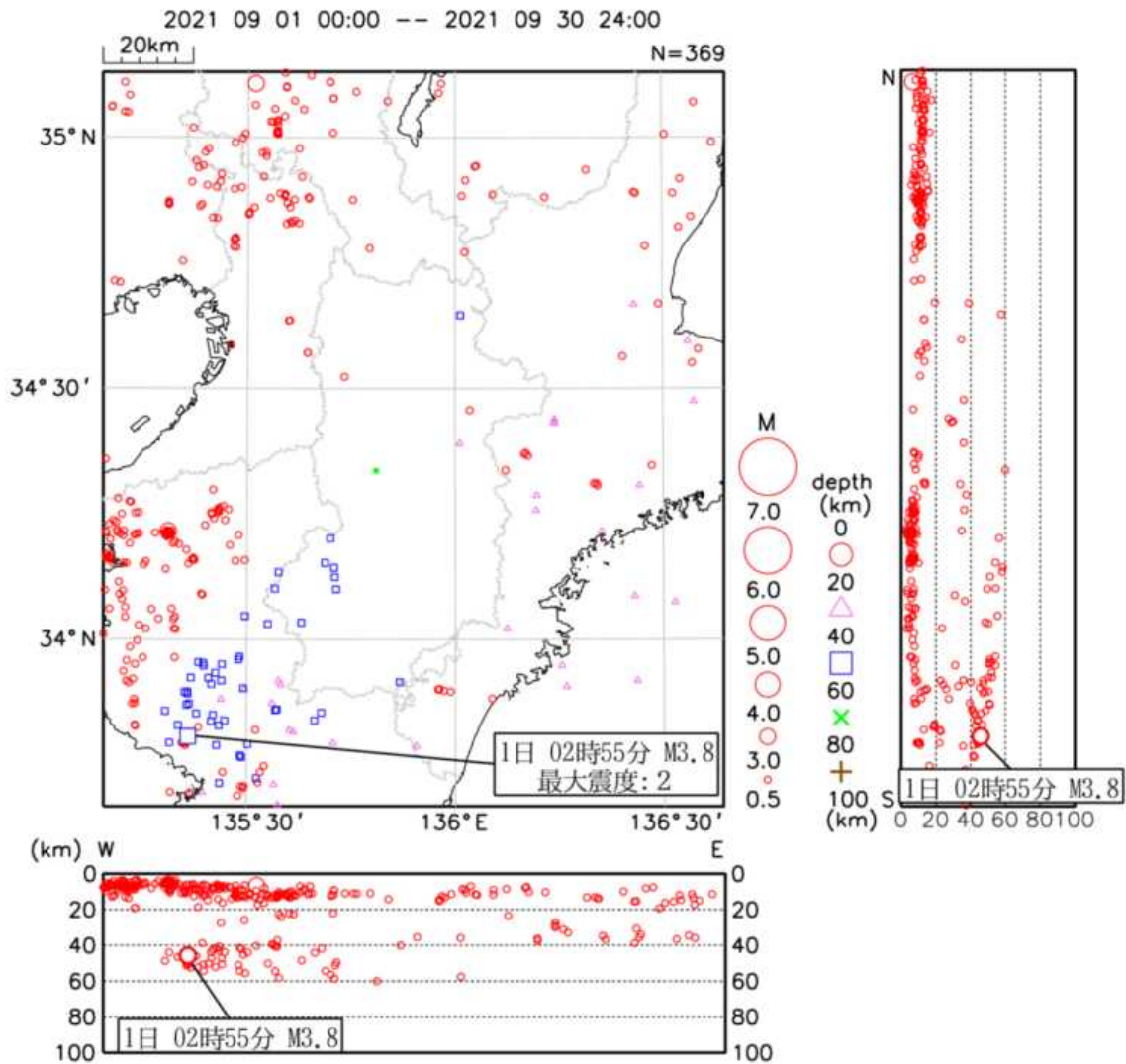
奈良地方気象台

2021年9月

# 【奈良県の地震活動図】

## 震央分布図と断面図

地図範囲内に分布している震央の南北方向の断面図(右上)と、東西方向の断面図(左下)で、地震の垂直分布を表しています。これにより、マグニチュード(M)の大きさと深さによる地震発生状況が把握しやすくなります。



## 【奈良県地震概況】

1日02時55分 和歌山県北部の地震(深さ46km、M3.8)により、大和郡山市・桜井市・宇陀市・天川村・十津川村・下北山村で震度1を観測したほか、三重県、京都府、大阪府、和歌山県、徳島県で震度2～1を観測しました。

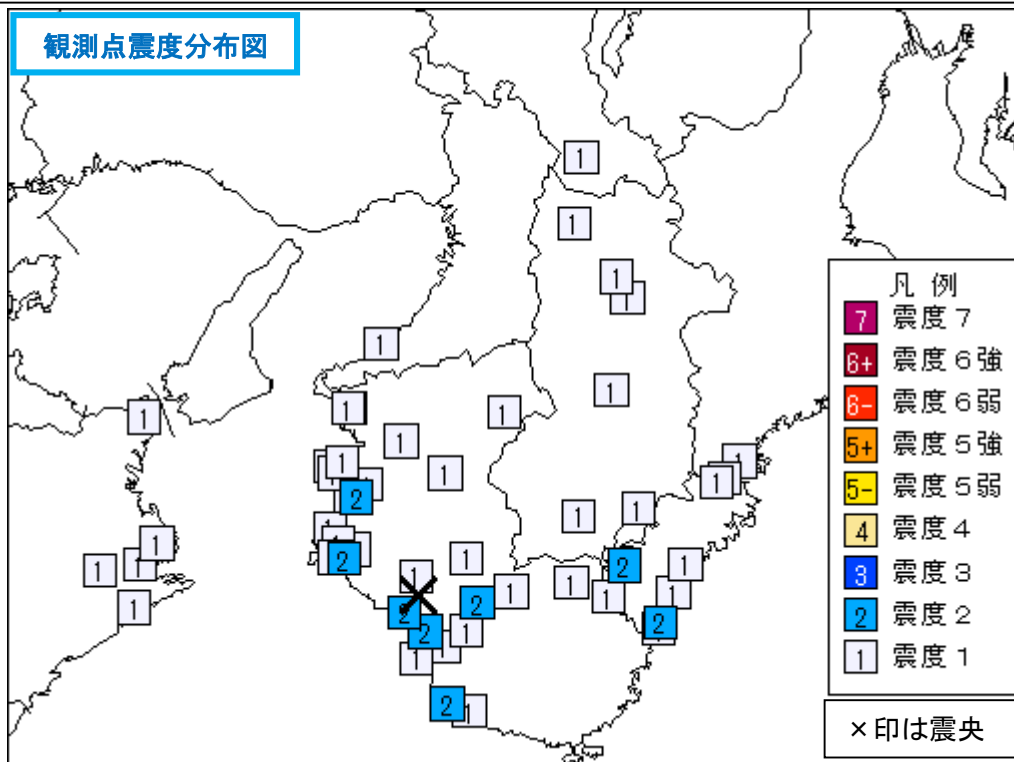
## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の一覧】

震源時(年月日時分)	震央地名	北緯	東経	深さ(km)	M
各地の震度 (奈良県内のみ記載)					
2021年09月01日02時55分	和歌山県北部	33° 48.3' N	135° 21.6' E	46km	M3.8
震度 1 : 大和郡山市北郡山町*, 桜井市初瀬, 天川村洞川, 十津川村小原*, 下北山村寺垣内*, 宇陀市大宇陀迫間*					

\*印は地方公共団体等の震度観測点です。

## 【奈良県で震度 1 以上を観測した地震の震度分布図】

2021年09月01日02時55分 和歌山県北部 33° 48.3' N 135° 21.6' E 46km M3.8



# 【地震一口メモ】

～南海トラフ地震臨時情報が発表されたら～

南海トラフ地震臨時情報（南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせする情報です※<sup>1</sup>）が発表された場合にはどうすべきでしょうか。内閣府でガイドライン※<sup>2</sup>が取り纏められていますので、その中の住民編について簡単に紹介します。

奈良県内は津波による災害リスクがありませんので南海トラフ地震臨時情報の（巨大地震警戒）又は（巨大地震注意）のいずれの情報も発表された場合にも日常生活を行いつつ、以下のような日頃からの地震への備えの再確認等を行った上で、個々の状況に応じて地震発生に注意した防災行動を取ることが基本になります。

- 家具の固定、非常用持出品、避難場所や避難経路、家族との安否確認手段等の再確認
- 日常生活を行いつつ、一定期間、できるだけ安全な防災行動をとる。具体的には、地震が発生した場合に危険性が高い場所をなるべく避ける、できるだけ安全な部屋で就寝する等、個々の状況に応じて可能な範囲でより安全な防災行動を選択するように意識する
- ハザードマップ等を活用し、土砂災害等の危険性が高い地域や、日頃利用する施設の安全性、日常的に通行する道路周辺のブロック塀の倒壊等の危険性等をあらかじめ把握しておく

## 日頃からの地震への備えの再確認

### ●避難場所・避難経路の確認



### ●家族との安否確認手段の確認

SNS・メール・電話・  
災害伝言ダイヤル

「171」に電話をかけて、伝言を残すときはさらに「1」を、伝言を聞くときは「2」をおし、自分の家の電話番号など、家族で決めておいた番号をおすと使えます。

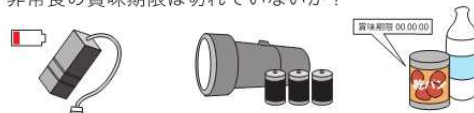


### ●家具の固定の確認



### ●非常持出品の確認など

- ・モバイルバッテリーは充電されているか？
- ・懐中電灯の電池は切れていないか？
- ・非常食の賞味期限は切れていないか？



## できるだけ安全な防災行動

### ●高いところに物を置かない

### ●屋内のできるだけ安全な場所で生活



### ●すぐに避難できる準備(非常持出品等)

### ●危険なところのできるだけ近づかない



※1：南海トラフ地震に関連する情報の種類と発表条件

[https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/info\\_criterion.html](https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/info_criterion.html)

※2：南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン

[http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/honbun\\_guideline2.pdf](http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/pdf/honbun_guideline2.pdf)

本紙は奈良地方気象台のホームページでも過去5年間程度分掲載しています。  
URL：<https://www.data.jma.go.jp/nara/jisin/jisin.htm>

